



スクール・エンパワーメント推進事業

東小学校「スマートスクール実現モデル校」

11月2日の公開授業では、一人ひとりが輝く学校～「個別最適な学び」と「協働的な学び」～をテーマに行われました。当日は、子どもたちが自分で学習形態・学習方法を主体的に選ぶ姿やタブレット端末を効果的に活用して、自分の考えや根拠を示しながら、相手にわかりやすく説明する姿がみられました。



狭山中学校「学校図書館を充実・活用するためのモデル校」

11月30日の公開授業では、情報を収集する際に、図書を活用するかインターネットを活用するか判断しながら、主体的に課題解決に取り組む力の育成をテーマに行われました。



第三中学校「確かな学びをはぐくむ学校づくり推進校」

12月7日の公開授業では、情報活用能力を視点においた主体的・対話的で深い学びの実現をテーマに行われました。



安全安心スクール

大阪狭山市内の全中学2年生を対象に安全安心スクールが行われました。大規模災害等が発生した場合、中学生などの若い年齢層の活動が大いに期待されます。当日は、大阪狭山市役所危機管理室や堺市消防局、地域の安全安心スクール推進リーダーの方に学校へ来ていただき、救急救命手当の知識と技術を教えていただきました。



部活動地域移行に向けて

大阪狭山市教育委員会3名と中学校教員3名が東京都新宿区へ先進地視察に行きました。



「地域移行」ってどういうこと？

地域の実情に応じ、地域の協力を得て、学校の部活動としてではなく、地域のスポーツ・文化芸術活動として活動することにより、子どもたちが継続してスポーツ・文化芸術活動に触れられる環境を段階的に整備していくことです。

まるごとパック推進事業

1月12日に南中学校で公開授業及び全体会、分科会が行われました。

公開授業では、3年生がタブレット端末を用いてプログラミングに取り組んでいる姿がみられました。



全体会では、2年生のわくわく・どきどきSDGsの取り組み実践報告と南第一小学校の地域学校協働活動推進員の田中晶子さんによる講話「地域を知る」が行われました。

分科会では、南中学校区の先生方が設定されたテーマごとに分かれ熱い話し合いが行われていました。

